

中央公園防災整備事業基本計画

平成 30 年 3 月

呉 市

目 次

1	はじめに	・ ・ ・ ・ ・ P1
2	計画の概要	・ ・ ・ ・ ・ P1
	(1) 公園の概要	
	(2) 公園の現状	
3	計画の位置づけ	・ ・ ・ ・ ・ P5
4	防災公園の整備に向けた課題整理	・ ・ ・ ・ ・ P6
	(1) 計画地及び周辺の特性整理	
	(2) 整備方針とゾーンの設定	
5	中央公園の再整備方針	・ ・ ・ ・ ・ P8
	(1) 都市公園としての機能整備	
	(2) 防災公園としての機能整備	
6	災害時の利用について（ゾーンニング及び動線）	・ ・ P9
	(1) 災害発生時（広域避難場所）	
	(2) 災害対応時（本庁舎や体育館と連携した防災中枢拠点）	
7	整備スケジュール	・ ・ ・ ・ ・ P10

1 はじめに

中央公園は、昭和47年に完成した後、長い間市民に親しまれる公園として利用されてきましたが、呉市地域防災計画において、本庁舎や体育館と連携した防災中枢拠点として位置づけられたことから、本庁舎の完成、体育館の耐震化に引き続き、防災機能の強化を目的とした公園の再整備を行う予定です。

このため、平常時の公園の役割や機能に加え、災害時の活用について、上位計画である呉市地域防災計画などを踏まえ、災害発生時・災害対応時の土地利用（ゾーニング）や動線など、防災公園としての基本的な考え方を示す、中央公園防災整備事業基本計画（以下「基本計画」という。）を策定しました。

2 計画の概要

(1) 公園の概要

名 称：中央公園

所 在 地：呉市中央4丁目1番地6他（住居表示 呉市中央4丁目1番）

公園種別：地区公園

公園面積：約6.9ヘクタール（うち再整備2.4ヘクタール）



(2) 公園の現状

ア 土地利用

計画地内の土地利用は、噴水広場、児童遊戯場、駐車場、臨時駐車場、緑地で構成されている。

各エリアの内容、施設は以下のとおりである。

○内神川北西側の用地には、呉市体育館、駐車場（94台）、児童遊戯場（砂場、ブランコ、滑り台、ジャングルジム等）、掲揚台、記念碑、トイレ等が整備されている。

○北西側の公園入口は、都市計画道路呉駅前本通6丁目線から駐車場への幅員11mの進入口（入口①）、歩道から幅員1.5mの遊戯広場への入口（入口②）、体育館利用者への幅員1.2mのスロープ（入口③）、幅員6mの階段（入口④）が整備されているほか、南西側市道から遊戯広場への幅員2m（入口⑤）の入口が整備されている。

○南東側の用地には、中央部に台形状の噴水広場、その外周の北西側は幅員10mの園路、その他の3方は幅員5mの園路によって囲まれている。園路はいずれもインターロッキングブロック舗装で整備されている。また、緊急輸送道路中央二河町線側は市役所来庁者駐車場建設までの臨時駐車場（128台）として利用している。

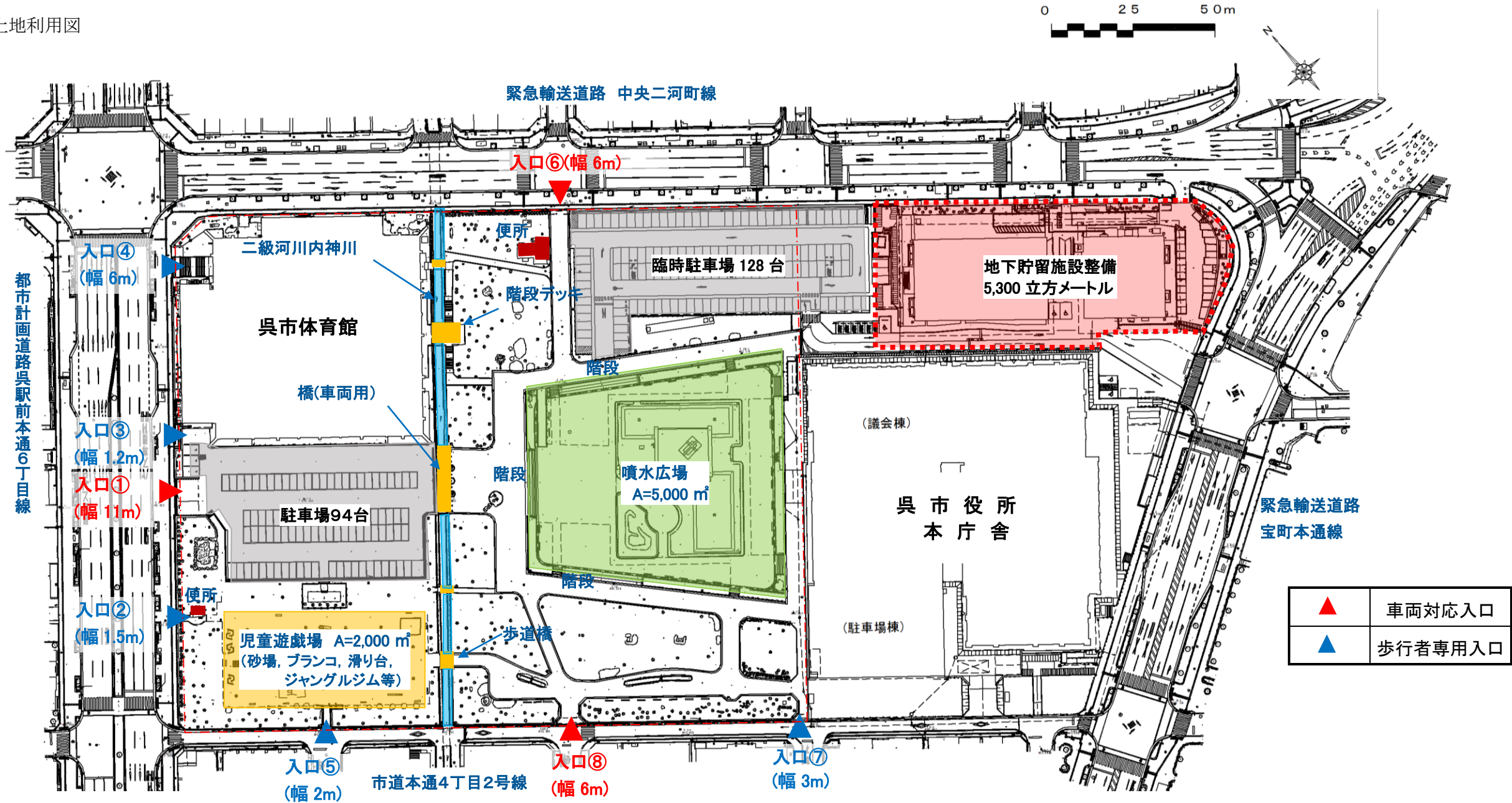
○噴水広場は石張り芝生の広場となっており、「くれ中央夏祭り」「呉水産祭り」等のイベント会場としても利用され、噴水広場に下る幅広の階段は、観覧席としての利用が可能になっている。

○南東側の噴水広場周辺の植栽地には、数多くの記念碑の設置や記念樹の植栽がある。

○北東側の公園入口は、緊急輸送道路中央二河町線の歩道から幅員6m入口（入口⑥）が整備されている。



○南西側の市道からは、街路が交差する庁舎側に幅員3mのスロープによる入口（入口⑦）と幅員6mのスロープの入口（入口⑧）が整備されている。

■ 現況土地利用図



■ 中央公園の利用状況（写真）

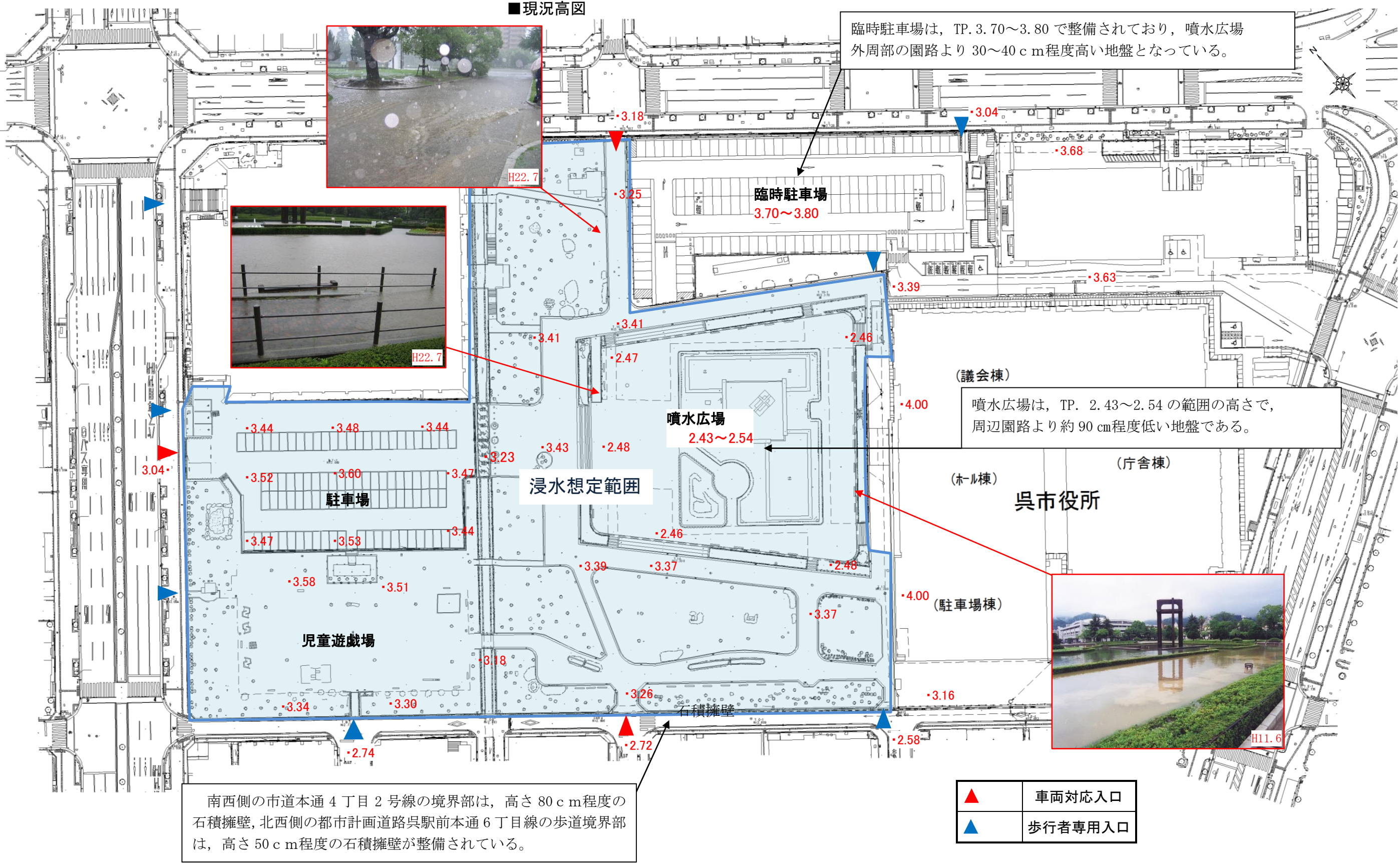
中央公園は、自然や風景を楽しむ憩いの場として、また、子供の遊び場、散歩やウォーキング、ペットの散歩など、日常的に広く利用されるほか、くれ中央夏祭りや呉水産祭りといった年に、十数回行われているイベントなど、市民に幅広く利用されています。

利 用 内 容 （日常的な利用）		
		
◆子供達の遊び場 ◆その他 休憩，軽運動，ペットの散歩 等	◆学校行事（自然観察等）	◆通路・散歩・ウォーキング

イメージ	利 用 内 容 （イ ベ ン ト 等）
	◆呉みなと祭 【開催日】 4月29日 【会 場】 中央公園・蔵本通り・中央地区商店街 呉市の春を飾る大イベント。ステージやパレードが行われ，中央公園はメイン会場として利用されている。
	◆呉水産祭 【開催日】 2月11日 【場 所】 中央公園 噴水広場周辺 呉市の水産物のPRのため，焼きガキだけでなく，呉市内の水産物の販売などで賑わう，冬のグルメイベント。
	◆くれ中央夏祭り 【開催日】 8月 【場 所】 中央公園 噴水広場周辺 ステージでの演奏等の他，地元主体による屋台等の出店，祭りの最後には盆踊りを行い，夏の夜を盛り上げる。
◆その他 呉市健康の日ウォーキング大会（3・5・10km コースのゴール会場） 産直市（年3～4回行われる農産物のイベント） J A呉まつり，成人式，メーデー式典，くれ花供養， 中央地区ウォーキング，中央地区お花見会，ふれあいバザー等	

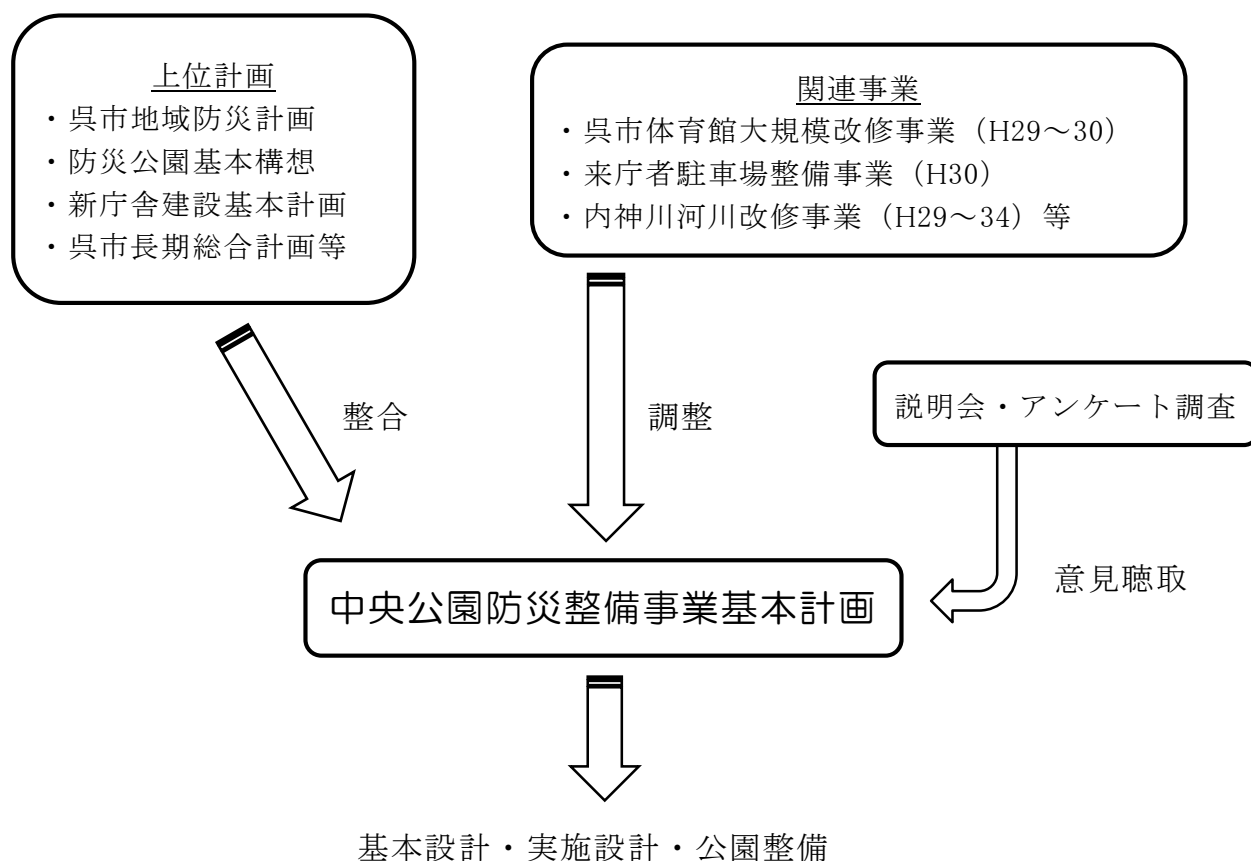
イ 公園の高さ

計画地内の現況高さは南海トラフ地震で想定される最高津波水位 TP. 3.60m 以下のため、津波が到達した場合は、臨時駐車場を除く公園の大半が浸水する危険性が高い。
また、平成11年、及び21年、22年の豪雨の際には、周辺道路が冠水しており、中央公園に雨水が流れ込み、噴水広場が浸水している。



3 計画の位置づけ

本計画は、上位計画や関連事業との整合を図りつつ、中央公園の役割や機能をもとに、防災公園としての基本的な考え方、計画条件、ゾーニングや動線の考え方を示したものであり、今後、基本設計、実施設計を経て公園整備を進めていきます。



4 防災公園の整備に向けた課題整理

上位計画や関連事業、現況把握を踏まえ、防災公園の整備に向けた課題を整理する。

(1) 計画地及び周辺特性整理

上位計画の位置づけ整理
防災公園としての位置づけ
<ul style="list-style-type: none">1. 本庁舎・体育館と一体となった呉市の防災中枢拠点<ul style="list-style-type: none">・呉市の防災中枢拠点（本庁舎・体育館と併せ中枢拠点のバックヤードなどとして活用）2. 中央地区の広域避難場所<ul style="list-style-type: none">・災害時に周辺からの避難者を収容し、地震・津波から避難者の生命を保護する3. 避難所機能、救援物資受入、備蓄機能（主に体育館）<ul style="list-style-type: none">・住民等の避難、救援物資等の受け入れ・中継・分配4. 機能強化に向けた災害関連施設<ul style="list-style-type: none">・災害時用仮設トイレ、防災資器材庫、耐震性防火水槽、飲料水兼用貯水槽等・その他の災害関連施設（炊き出しスペース、ヘリコプター緊急着陸スペース、緊急車両・避難者駐車スペース等）
計画地におけるその他関連計画の位置づけや関連事業
<ul style="list-style-type: none">1. 都市の顔となる公園の整備（呉市都市計画マスタープラン全体構想（案））2. 景観重要都市公園（呉市景観計画）3. 呉市体育館大規模修繕事業・来庁者駐車場整備事業・内神川河川改修事業
計画地周辺の特性整理
<ul style="list-style-type: none">1. 典型的な瀬戸内気候<ul style="list-style-type: none">・温和で晴天が多く、年間降水量が少ない2. 風光明媚な景観<ul style="list-style-type: none">・山と海に囲まれた風光明媚な景観で、計画地周辺からは周囲の山並みを望むことができる3. 公共施設や文教施設が多く立地する利便性の高いエリア<ul style="list-style-type: none">・計画地周辺には、市役所をはじめ図書館や文化ホール、病院、学校等の施設が集積する利便性の高いエリア
公園の現況整理
<ul style="list-style-type: none">1. 施設型の土地利用<ul style="list-style-type: none">・呉市体育館、水景施設、記念施設、駐車場、河川等により、自由に利用できるスペース等が少ない。また、河川や河川沿いの植栽帯により、広場相互のつながりがない形態である。2. 浸水想定区域<ul style="list-style-type: none">・計画地の地盤高さは、最高津波水位 TP. 3.6m を下回っており、浸水想定区域となっており、また、平成 11 年、21・22 年と浸水している。3. 良好な緑景観の形成<ul style="list-style-type: none">・計画地は、中高層の建物が立ち並ぶ呉市中心部において、貴重な緑のオープンスペースとなっている。一方で肥大化した中低木等により、見通しが悪い等の課題も生じている。4. イベント<ul style="list-style-type: none">・現況の公園は、呉水産祭りやくれ中央夏祭り等、年十数回のイベントが開催されている。

(2) 整備方針とゾーンの設定

課題，基本理念，基本方針を踏まえ，整備方針及び機能・ゾーンを設定する。

■基本理念

市民の暮らしにいつでも安全・安心を提供する潤い空間の創出
～誰もがいつでも安全・安心に利用できる「まちなか広場」～

■課題

課題① 防災公園としての機能整備

○中央公園は，隣接する本庁舎や体育館と一体として，呉市の防災活動を担う防災中枢拠点として，また中央地区の広域避難場所として，多様な防災機能を発揮することが求められており，計画では，敷地内の役割に加え，それぞれの施設の防災機能を踏まえた形で公園計画を実施する必要がある。

○中央公園は南海トラフ地震で想定される最高津波水位（T.P.3.6m）より地盤高が低く，浸水が想定される。特に噴水広場の高さはT.P.2.4～2.5mしかなく，平成11年，21年，22年の大雨でも周辺道路の冠水により雨水が流れ込み浸水しており，災害時に浸水しないための高さが必要である。なお，本庁舎は地盤高（T.P.4.0m）で建設されている。

課題② 日常的な公園の機能・施設の充実

○現況の公園は，市民の憩いや安らぎ，散策等の利用に加え，多様なイベントの会場として利用されており，計画ではこうした活動が継続して実施できる広場や施設を計画するとともに，誰もが安全安心して利用できる環境整備や施設等の充実が求められる。

○現在の公園は，体育館，噴水や池等の水景施設，記念碑・記念樹，駐車場，また，敷地内を流れる内神川により，自由に利用できるスペースが限られるため，計画では，動線や防災機能等を踏まえつつ，中心市街地の貴重なオープンスペースとして，イベントや健康運動，軽スポーツ等の多目的な利用が図れるように，敷地の有効活用を検討する必要がある。

○また，誰もが安全・安心に利用できるように，公園内の見通しを確保するとともに，高齢者や障がい者等の弱者の利用を踏まえたバリアフリーの考え方に基づく園路や施設整備が必要である。

○災害時の利用のしやすさだけでなく，基本計画説明会やその後のアンケート調査の結果から，平常時の利用，特に子供の安全・安心に配慮した計画が必要である。

課題③ 都市公園としての良好な景観形成

○中央公園は本庁舎の建設に伴い，緑地が減じており，また，公園内を流れる内神川は内水氾濫を防ぐため，敷地南西側の緑地を通る形で河川改修が計画されており，公園内外に緑豊かな景観を創出していた敷地南西の樹木がなくなる。そこで，公園内外の良好な景観形成やふれあい広場の防火樹林の形成等を踏まえ，新たな緑の創出が求められる。

課題④ 公園を通じた日常的な交流・つながりの強化/災害時の共助の強化

○災害時に避難者がスムーズに避難するとともに，災害関連施設等の効率的な利用を図るためには，ハード整備とともに平常時から公園を介した市民相互のつながりづくりを強化していくことが求められる。特に避難時には高齢者や子供，障がい者など様々な人の利用が予想されることや，支援体制が整っていない被災直後は，施設の実質的な管理・運用等は避難者である市民が主体となるケースが予想されることから，計画・設計や整備後の運営などへの市民の関わりや参画づくり，日常的な防災訓練の実施等を検討していくことが求められる。

■整備方針と機能・ゾーン

整備方針(平常時)	機能・ゾーン			
	平常時	災害発生時	災害対応時	
・市民の日常的な屋内スポーツや競技用スポーツの場として活用する。	呉市体育館（既設）	準拠点避難所	備蓄場	避難ゾーン 備蓄ゾーン
・低年齢層を主体とした遊び場を整備する。	ふれあい広場	供給場所		避難ゾーン
・既設駐車場を活用する。	体育館及び公園利用者駐車場	避難者用駐車場	荷さばき場	
・市民の憩いやレクリエーション等，多様な利用ができる広場を整備する。 ・本庁舎と連携し，様々な楽しみができる空間を整備する。 ・イベント時等，利用形態に応じて柔軟に対応できる広場を整備する。	自由広場	広域避難場所	救援部隊駐車場等	避難ゾーン 救援ゾーン

■基本方針

1. 呉市役所・体育館と連携した防災中枢拠点としての機能強化を図る。
2. 防災中枢拠点及び広域避難場所として，浸水しない必要な高さを確保する。
3. 防災面だけでなく，日常利用について十分配慮し，まちなかの貴重な緑豊かなオープンスペースとして，潤いのある公園作りを行う。
4. 災害時の安全・安心だけでなく，日常時の安全・安心にも配慮した空間として整備する。
5. 段差のないバリアフリー環境を整えとともに，明るく清潔で利用しやすい公園として整備する。
6. イニシャルコストだけでなく，将来の維持管理費を含むトータルコストの縮減に努める。

5 中央公園の再整備方針

(1) 都市公園としての機能整備

市民の憩いやレクリエーション，大規模な集客イベント等の用途に活用できる自由広場を新たに整備します。

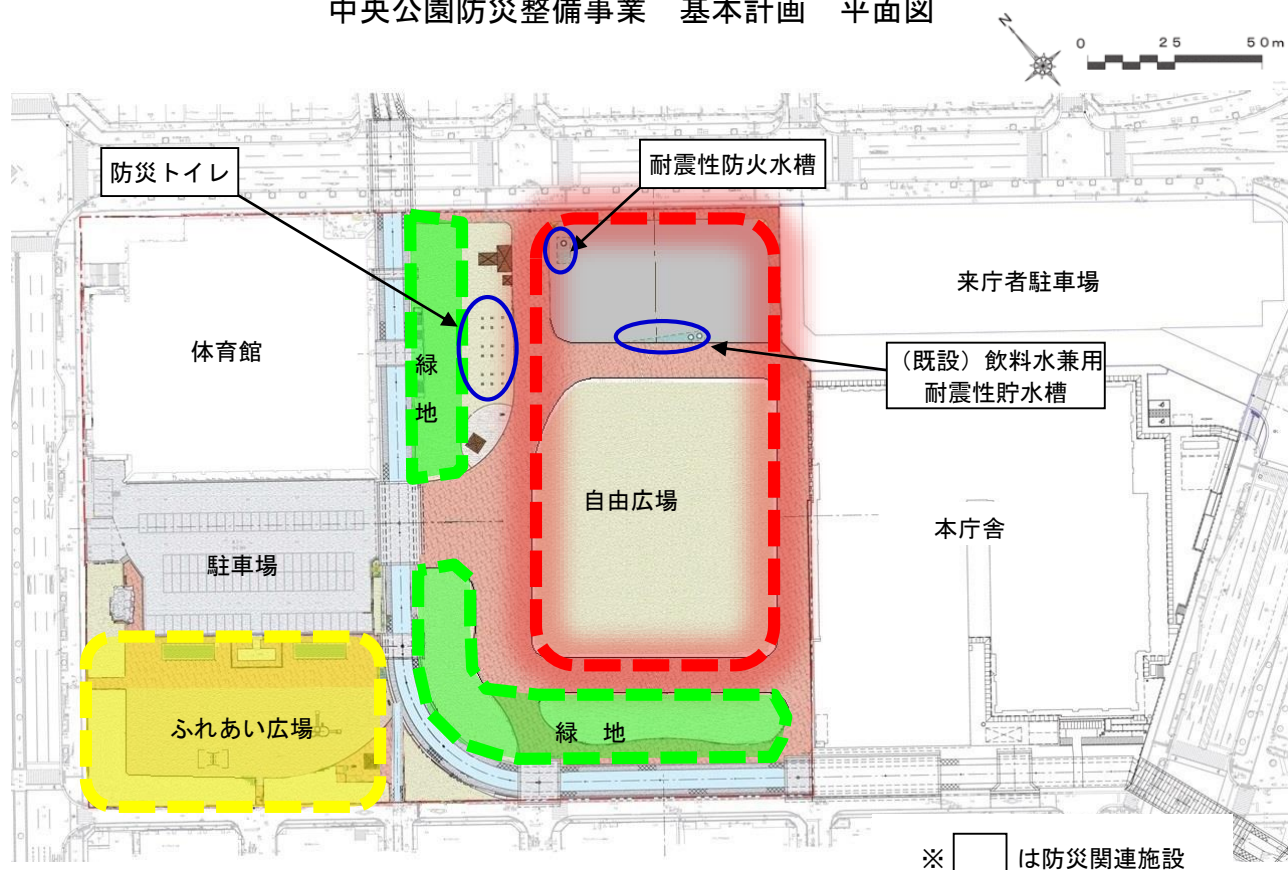
また，既存の体育館南側の駐車場や広場を有効活用しながら，公園内の記念樹や記念碑などを保全し，見通しを確保した明るく良好な景観を形成するとともに，バリアフリーに配慮し，世代を超えたふれあいの場として，安全・安心な公園を整備します。

(2) 防災公園としての機能整備

自由広場や園路は，災害発生時から災害対応時までの様々な場面で，柔軟な対応が可能となるよう平面形状とし，広域避難場所として利用するとともに，防災中核拠点となる本庁舎の機能を補完します。

また，防災関連の施設として，耐震性防火水槽や防災トイレ等を整備します。

中央公園防災整備事業 基本計画 平面図



※広場の形状等は，今後の設計により決定します。

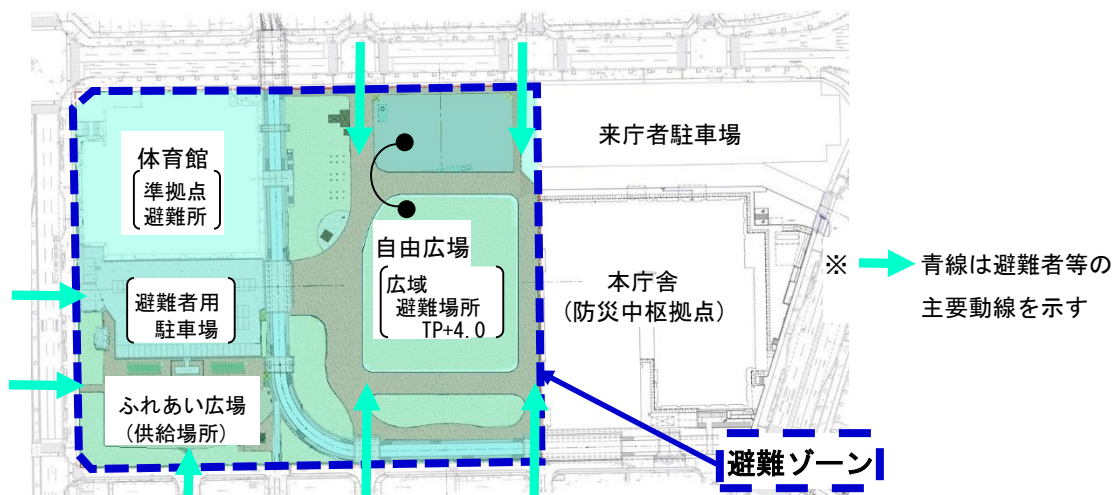
6 災害時の利用について（ゾーニング及び動線）

(1) 災害発生時（広域避難場所）

ア 自由広場は、南海トラフ地震で想定される最高津波水位を上回るよう、本庁舎の地盤高と同じ高さで整備し、広域避難場所として使用します。

また、体育館南側の駐車場は避難者用駐車場として、体育館南側のふれあい広場は避難者の生活に必要な食糧等の供給場所として使用します。

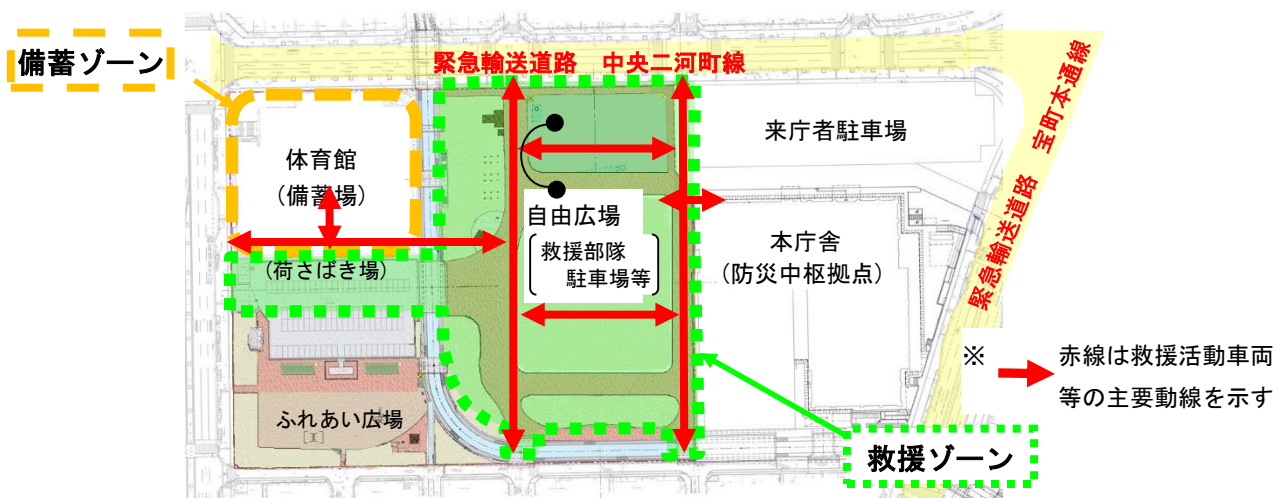
イ 避難者が公園入口から避難場所へ直線で進入できる動線を確保します。



(2) 災害対応時（本庁舎や体育館と連携した防災中枢拠点）

ア 自由広場は、防災中枢拠点となる本庁舎の機能を補完するため、救援部隊の駐車場等として、体育館南側の駐車場は、救援物資の荷さばき場等として使用します。

イ 公園北側の緊急輸送道路を始め、3方向の道路への車両の動線を確保します。
また、園路は緊急車両が円滑に通行できる幅員を確保します。



7 整備スケジュール

中央公園防災整備事業は、以下に示すスケジュールで進めていきます。

なお、1月10日に開催した基本計画説明会でのご意見やアンケートの調査結果を踏まえ、今後、広場や園路の形状、整備する施設について、特に子供の安全・安心に配慮し、検討を行った上で、説明会を開催し、市民の意見を取り入れ、設計を進めて参ります。

区 分		年 度						
		29	30	31	32	33	34	35
中央公園 防災整備 事業	設 計 業 務							
	整 備 工 事							
関 連 事 業	呉市体育館大規模改修事業							
	来場者駐車場整備事業							
	内神川河川改修事業							